教育のぼりべつ

令和二年
12月1日
No.28

発行；登別市教育委員会 TEL0143-88-1100　〒059-0014 登別市富士町７丁目 33 番地

学校祭の代替え行事「総合発表会」

今年度の市内中学校の学校祭は、新型コロナウイルスの感染予防のため、中止となりました。幌別中学校では、代替え行事として９月１８日（金）に総合的な学習の時間の取組を発表する「総合発表会」が開催されました。発表会では、行灯行列は実施しませんでしたが、制作した行灯を体育館において披露しました。今年は、「がんばろう！登別！！ ～市制 50 周年。更なる未来へ！」をテーマに切り絵で描き、完成させました。終了後、多くの市民の方々に見てもらうために登別中央ショッピングセンターアーニスに展示しました。

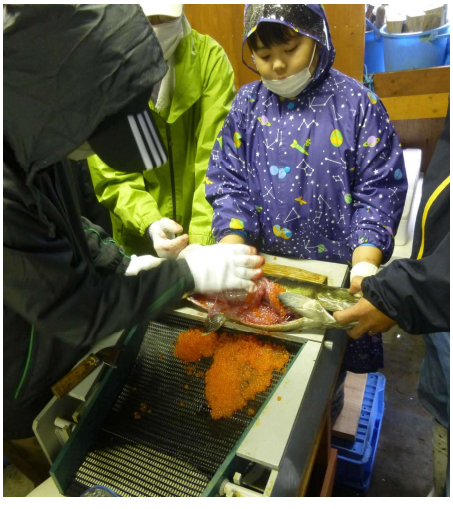


【２年生の作品「昔の風景／市の花・木」】

地域学校協働本部事業「さけの採卵体験」

１０月３日（土）登別中学校区地域学校協働本部主催による、自然ふれあい体験事業として、いぶり中央漁業協同組合登別さけ・ますふ化場のご協力を得て、「さけの採卵体験」が実施されました。当日は、児童１６名が参加しました。

ふ化場では、丁寧な説明を受け、子どもたちも質問する姿が見られました。採卵体験では、交替でさけをおさえ、お腹を裂いて卵を取り出し、その後、白子をかけて受精させました。低学年の児童は、ふ化場の方に手を支えてもらいながら作業をしていました。来年の４月には、稚魚となり、川へ放流されます。（今年度５月の放流は、中止でした）



メスのお腹を裂き卵を出す



オスのお腹を押して白子をかける

社会教育委員の役割と意義

登別市社会教育委員の会委員長　川島　芳治　氏　に聴く

【 社会教育 】～昭和24年（1949年）に社会教育法が制定され、地域住民同士が学び合い、教え合う相互学習等を通じて、人々の教養の向上、健康の増進などを図り、人と人との絆を強くする役割を果たしています。



私の所属する登別市は、現在、校長会の代表、PTA 連合会の代表、学識経験者、民生委員児童委員協議会、文化協会、スポーツ協会の代表・・など合計13名で構成されています。

社会教育委員は、住民の意向を行政に反映させるためのパイプ役で、地域の力を引き出す重要な役割があります。主に会議への参加、社会教育中期計画の策定、教育委員会への提言、胆振や北海道の各種研修会への参加などです。

【 はじめたきっかけ 】

昭和52年（1977年）に登別市子ども会育成連絡協議会の活動を始め、その後、胆振の協議会会長、北海道連合会の理事として活動していた平成6年（1994年）に当時の後藤教育長に勧められたのが社会教育委員になるきっかけでした。

【 現状と思う事 】

社会教育委員は、どの地域もおそらく60代以上が圧倒的に多いです。もともと学校や家庭教育等、教育現場での経験豊富な方で構成されています。今まで参加してみて思うことは、我々世代が「よく知らない委員」と思われているということです。公民館をよく利用される層や社会教育の現場にいる人にとっては、社会教育委員は頑張っている。とても大事な役割を担っていると思うかもしれませんが、ただ話し合って、困ったね、改善したいね、で終わっていないかと思うこともあります。他の市町村の社会教育委員さんに会い、地域の事例発表を聞いて、活躍している地域もたくさんあります。今後、子育て世代の支援や若者支援も重視するのであれば、やはりその当事者にも知られる存在でなければならないのではないかと思います。

【 これからの社会教育 】

急速に進展する少子高齢化は、次の時代をどう育てるかという大きな課題があります。また、若者や高齢者一人一人が豊かな社会を創るためにどう貢献していくのか、支え合いながら地域コミュニティを育成し、助け合いながら暮らすことのできる社会教育を基盤とした人づくり、地域づくりが求められていると思います。今後も会議の声を行政に働きかけ、幅広い分野で社会教育の振興を図り、より良い社会づくりにつなげていきたいと、期待を持ちながらこれからも頑張ります。



昨年の登別市少年の主張大会　⇒

登別市の GIGA スクール構想の実現

- １人１台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別に最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育 ICT 環境を実現します。
- これまでの教育実践と最先端の ICT のベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出します。
- 参考までに**「GIGA」は、「Global and Innovation Gateway for All」の頭文字であり、**記憶媒体の容量を表すGB（ギガバイト）とは、違います。

（1）校内通信ネットワークの整備　　市内全ての小中学校における無線 LAN を整備
（2）児童生徒１人１台の端末の整備　市内全ての児童生徒が使用するパソコンを配備

これまでの教育実践　×　ICT＝　**学習活動の一層の充実、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善**

一斉授業　学びの深化



・教師は授業中でも一人一人の反応を把握できる。
⇒　子供たち一人一人の反応を踏まえた、双方向型の一斉授業が可能

個別学習　学びの転換



・各人が同時に個々の内容を学習
・個々人の学習履歴を記録
⇒　一人一人の教育的ニーズや学習状況に応じた個別学習が可能

協働学習　学びの転換



・一人一人の考えをお互いにリアルタイムで共有
・子供同士で双方向の意見交換が可能に
⇒　各自の考えを即時に共有し、多様な意見にも即時に触れられる

設置に向けて

「１人１台環境」における ICT の活用計画、さらにその達成状況を踏まえた教員のスキル向上などのフォローアップ計画が必要になる。

整備状況　　～「１人１台端末」を導入するための環境整備を進めています　～

校内の無線LANの整備は、10月中旬から工事が入り、その後、整備が終わった学校からパソコンが入る予定となっています。来年の2月までには、市内全ての小中学校の整備が完了する予定です。



校内無線 LAN の工事



導入される PC

縦割りチームで絆を深めた体育大会「大成功」

１０月９日（金）、西陵中学校では体育大会が開催されました。今年は、いろいろな行事が新型コロナウイルスの感染予防のため中止となり、思い出に残る体育大会にしようと、３年生がリーダーとなって「赤・青・黄色」縦割り３チームで競い合いました。全員リレーや長縄跳び、小学校の運動会種目である綱引きや玉入れなどで大いに盛り上がりました。閉会式では、生徒会役員の引退セレモニーも行われ、役員からの涙のあいさつに、会場は温かい空気に包まれました。



綱　引　き



長　縄　飛　び

登別市の相談窓口　０１４３－８５－００８５

いじめ・教育相談電話



登別市教育委員会では、「学校のこと」、「家の中のこと」、「友達のこと」などでのお悩みの方に、相談電話窓口を設けています。

いじめ・教育相談メールの開設



登別市教育委員会では、新しく「メール相談窓口」を開設しました。

メールアドレス　⇒　**tsunagu@city.noboribetsu.lg.jp**

まずは、市教委HP→学校教育→「相談窓口」をクリック

心の相談員　　⇒　全中学校に配置

登別市教育委員会では、中学生の悩み事を第三者的な立場で気軽に相談でき、社会経験の豊富な相談員を配置して、生徒の心の悩み、不安、ストレス等の相談を受けその問題解決に向けて助言し、安心して学校生活を送れる環境づくりを進めています。

スクールカウンセラー　配置校（拠点校方式）　⇒　幌別中・緑陽中・鷲別中

登別市教育委員会では、市内の児童生徒の悩みについて、カウンセリング（相談・助言等）を行うために、専門的な知識及び経験等を有する臨床心理士を配置し、児童生徒一人一人の諸問題の相談・助言を行っています。また、保護者の方に対しても、お子さんの諸問題解決のため、適切な助言・援助をしています。